

**木材・プラスチック再生複合材部会**  
**2022 年度活動方針**

当部会については、昨年度より進めてきた事務局 2 名体制化や、分科会兼任の排除とリーダー、サブリーダー 2 名中心とする運営ルールの見直しなど、役割分担の明確化による効率的な運営体制への転換を図って参りました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からウェブ会議の積極的な活用などにより、分科会の開催頻度を落とさず、より密度の高い会合とする部会運営を模索してまいりました。昨今は少し落ち着きをみせていたコロナ感染者数も再び増加の気配もあることから、本年度も引き続き感染拡大防止には最大限配慮しつつ WPRC の普及を図るとともに会員各社様事業への貢献ができるよう取り組んで参ります。なお、昨年度高めたチームワークを生かせるよう、各分科会の参加メンバーは昨年度のまま継続することと致しました。

このような基本的な考え方にに基づき、昨年度からの継続課題を中心として以下に示す通り活動方針を設定致しました。

**本年度重点課題**

**1. WPRC の市場拡大のための普及広報活動を行う。**

1) 情報発信

CLOMA を通じ海洋プラスチック問題等に対する WPRC としての提案を進めると共に関連省庁への働きかけを進める。

2) 情報収集

CLOMA や日本プラスチック工業連盟を通じて、プラスチック・リサイクルの最新情報入手し、今後の多回リサイクルへの参考情報として会員企業間で共有する。

**2. 市場要求を踏まえた WPRC 情報提供と認証拡大を行う。**

1) 部会員各社の WPRC 取扱説明書記載を参考に、共通の注意事項を抽出し発信を図る。

2) LEED へ紐づくエコリーフ取得を可能とするための PCR (計算ルール) 登録を進める。

**3. 国際標準化受託事業への支援活動を行う。**

1) 2020 年度経産省委託事業「グリーン建材・設備製品に関する国際標準化」の分科会活動について、ISO/DIS20819-2 対応、ISO/TC61/SC11 国際会議での FDIS 提案に向けた支援を進める。

**4. 政府広報活動への協力をを行う。**

1) 「こどもデー」「Japan Home & Building Show 2022」への参加を予定。

**5. ホームページの維持・更新による情報発信、会員募集を行う。**

1) 各種情報更新とともに、環境指標 WG の若手メンバーを中心に、動画コンテンツの作成・掲載をはじめホームページの刷新を図り、WPRC 部会会員数増を目指す。

以上